

研究課題：腹腔鏡下葛西手術における肝門部剥離に関する研究

1. 研究の目的

胆道閉鎖症という肝臓で作られる胆汁という消化酵素の流れが悪くなる（胆汁うっ滞）病気に対して葛西手術という胆汁の出入り口に腸管を縫合する手術がひろく普及しています。葛西手術において肝門部の組織の剥離の深さに関して明確な根拠は現在ありません。剥離により胆汁うっ滞が改善されるため、今回、より適切な剥離の深さを検討することにしました。

2. 研究の方法

2019年1月から2025年8月までに胆道閉鎖症に対して腹腔鏡下葛西手術をおこなった患者さんが対象となります。

診療録から、手術時年齢、手術時間、出血量、術後経過、手術に使用した物品、合併症の有無の情報を調べまとめます。また、保存されている手術動画を用いて肝臓を剥離した範囲と肝臓が露出した範囲の面積を解析をおこないます。

3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から2028年3月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

手術と、その後の経過を画像検査結果、カルテの記載から、調べまとめます。画像（個人情報を一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがあります、患者さんの名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：外科 科長 川嶋 寛

研究分担者：外科 医員 海老原 統基

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2026年3月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）